

濡れ髪喧嘩旅 (1960)

メディア 映画

ジャンル 時代劇

製作国 日本

色彩 Color

時間 98分

初公開日 1960/02/17

【解説】

「濡れ髪剣法」に始まる「濡れ髪」シリーズの第四弾で、監督やキャストを一新した。「濡れ髪喧嘩旅」の八尋不二によるオリジナル脚本を「薄桜記」の森一生が監督。主演は前作と同じく市川雷蔵が務めたが、川崎敬三と浦路洋子が共演を果たした。

勘定奉行配下の遠山金八郎は、美濃太田の金山代官黒崎主膳の不正摘発を任せられ、江戸を出発した。だが早々に美人局にひっかけられ無頼漢に囲まれたところを、おさなら伝次というやくざ者に救われる。色男を気取る金八郎は行く先々で女性のトラブルに見舞われ、その度に伝次に救われるのだった。金八郎は目的である黒崎主膳の不正を指摘することができるのだろうか。

【クレジット】

監督 森一生

製作 三浦信夫

企画 八尋大和

脚本 八尋不二

撮影 本多省三

美術 太田誠一

音楽 小川寛興 Hirooki Ogawa

出演 市川雷蔵

川崎敬三

浦路洋子

真城千都世

三田登喜子

仁木多鶴子

山田五十鈴